

# 第84回（平成29年度第1回）番組審議会議事録

1. 開催日時：平成29年5月22日（月）午前10時00分～11時30分

2. 会 場：西宮市職員会館 1階 第1中会議室

3. 委員の出席： 委員総数：7名  
出席委員数：6名  
放送事業者側出席者 代表取締役社長：1名  
統括部長：1名  
西宮市：2名

## 4. 議題

番組内容についての審議

「さくらアイドルFRONT」 毎月第2木曜 20:30-22:00

現役アイドルがお送りする90分のアイドル応援番組。

## 5. 議事概要

社長より審議をお願いする等の挨拶。事務局より委員総数7名中6名の出席で、過半数出席、会は有効に成立している旨の報告。その後、議題に沿って各委員から意見をいただき、必要に応じて放送事業者側が説明・回答しながら進行。

## 6. 審議内容

委員長：お聴き頂いた番組について審議に入ります。お感じになった事を忌憚なく発言願いたい。私は放送日に聞いていたが寝てしまい起きたら終わっていた。

委員：私は目が覚めてしまった。一言で言えば楽屋落ち。伝わってくるのはイベント告知のみ。世代間なのかもしれないが。前にも言ったが声の質が似ている事も含め、出演人数が多い時は気をつけないと誰が話しているかわからない。特にこの番組は「間」がない。イベント紹介など肝心な時は伝わるようにしているがそれ以外は声がダブって非常に聴きづらかった。繰り返し自己紹介をする、固有名詞を出すなど、よほど注意しないとイケない。スタジオ入りを早くするなどして事前確認等も気をつけた方がよいかもしれない。

委員：新鮮でした。我々がついていける話しではないということもよくわかった。この番組は月1回ですよね、他の週はどうですか。

事務局：第1週は現在お休み（音楽放送）、第3週は西宮北口、第4週は落語の番組です。

委員：「アイドルフロント」となっているが歌手やアイドルが出演しているのですか。

事務局：出演者の神井さん（の事務所）の繋がりやイベントの共演者などを中心に提供いただいている。最初に企画した時に聞いたがアイドルの世界は入れ替わりが激しくすぐに解散や辞めたりしてしまうので、レギュラーで出演してくれるメインアイドル（神井さん）を探すのに苦労しました。

委員：こういう世界が好きな方々はいますか、またこの番組にはファンがいるのですか。

事務局：昨年秋に神井さんのワンマンライブに行ったが、平日の夜でも約200人の集客がありました。番組に関しては出演者の神井さんのファンの方々はしっかりついていて印象です。その他はその時々ゲスト出演者がツイッター等で自身のファンに呼びかけて聴いてもらうというのが中心という感触です。あとはリスナーが番組を録音してYouTubeにアップしているのを発見したことがあります。

委員：こういう世界があるのは面白いと思う。特に2組目の日本橋の方々は。

事務局：いわゆるメイドカフェをベースに活動しているグループだそうです。

委員：大変ニッチな世界かもわからないが、それでラジオのファンがつくのであれば工夫していただきたい。

事務局：まずは番組をたちあげてゆくゆくは（西宮で）アイドルイベントなどができれば、とは考えています。

委員：私はついていけません。ツイッターやフェイスブックを活用するのはいいのではないかと思います。ただ、この日にさくらFMのフェイスブックを見たがこの番組のことは載っていなかった。勿体無いと思う。

事務局：この日はスタジオ入りが直前になってしまい準備できませんでした。

委員：神戸市はまだ全区ではないが、商店街などがバックアップするかたちで区のアイドルをつくって競争意識を煽ることで若年層を取り入れようとしている。成功しているとはいえないが区のイベントなどに活用している。このようなものがあればコミュニティFMで支援するなど可能だと思う。

委員：楽しそうだということは感じた。いい番組だとは思ったが、メリハリがなかった。なのである程度パーソナリティー側からゲストを紹介してあげたほうがよいのでは？と感じた。

委員：アイドルというと人気投票のようなものを思い浮かべるので、例えば3ヶ月くらいの単位でゲスト出演したアイドルの人気投票などをすれば、もう一度聴いてもらえるような仕組みになるので面白いのでは？と思った。

事務局：面白いと思います、今後の検討材料にします。

- 委員：応援番組とのことですが、なぜアイドルを応援することになったのですか。
- 事務局：あまり取り上げられないサブカルチャー的な世界ですが、活動している方々は一生懸命頑張っているし、それなりに成熟した業界なので、もっと世に紹介していてもいいのではないかと思ひ企画しました。ただ紹介するだけでは広がらないので現役アイドルである神井さんをセッティングしました。
- 委員：理解してもらおうとのことですが、どの年代に？対象が曖昧で訴求点がよくわからない、少なくとも我々の年代に対してであれば理解は深まらないと感じた。あと地域とどういう関わりがあるのか？地域という観点はあるのか？
- 事務局：地域という意味では神戸～大阪くらいまでの地域、という意識です。東京に比べて数も質も違いますが、やはり大阪ベースのアイドルが基本なので。
- 委員：作り方ということで言えば、オープンスペースの活用は効果がある。以前吉本興業とサンテレビで長田のスタジオを使って制作したが、まだ駆け出しの芸人目当てにかなり遠方からもファンが来て驚いた。ラジオ関西のサテライトスタジオにもアイドル目当てのリスナーが殺到したことがある。瞬間的だが地域の経済効果は期待できるので今後市内のオープンスペースで番組収録等を企画する際はこの番組などは最適ではないかと思う。
- 委員：地域との関わりということでは、地域のもの、例えば今回さくらFMで作ったサイダーを番組内で飲んでいただくなどしてみてもどうか。
- 委員長：番組以外でその他にご意見等ありませんか？
- 委員：芦屋市朝日ヶ丘町に住んでいます。「さくらFM」の電波が入りにくい環境です。このため、スマホかパソコンで聞いています。スマホはアプリを使えば、音量調整ができます。ところが、パソコンで聞く場合、インターネットサイマルラジオから「さくらFM」を聞くことになり、画面のマウス操作で音量調節ができません。詳しいことは分かりませんが、「Media Player」か「TuneIn Radio」で聞けるようになれば、操作が簡単で助かります。研究してみてください。
- 事務局：担当者に伝えます。

議長は委員にその他特に意見がない旨を確認し、本日の審議会を終了し閉会する旨を述べる。

社長は審議会で意見を頂いた事への謝意を述べ閉会にあたって挨拶を行った。次回の審議会は平成29年7月21日午後4時00分と決定した。

議長は午前11時30分に審議会閉会を宣した。議事の経過を明確にするため議事録を作成し委員長及び出席委員の記名押印をする。

7. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法  
近畿総合通信局への提出が完了次第「さくらFM」のホームページ（URL  
<http://sakura-fm.co.jp/>）にて掲載。

平成29年5月22日  
さくらFM株式会社